

第1章

気象等の概要

1. 平成30年7月豪雨の概要

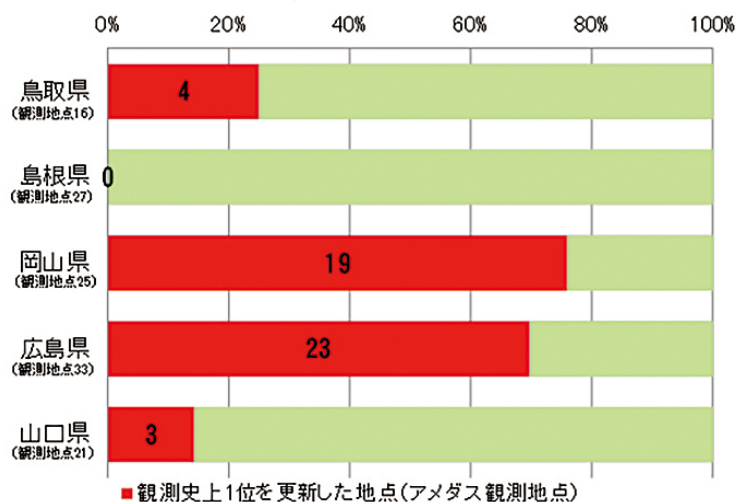
平成30年6月28日以降、華中から日本海を通過して北日本に停滞していた梅雨前線は、7月4日にかけて北海道付近に北上した後、7月5日に南下し、7日にかけて本州付近に停滞した。この前線へ向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活発な活動が続いたため、中国地方では降り始めからの総雨量が450mmを超え、岡山県では高梁川水系の新見市新見地点で392.5mm、倉敷市倉敷地点で260.0mmという観測史上1位の降水量（48時間累加雨量）を記録する豪雨となった。7月6日には中国地方で初めて3県同時に大雨特別警報が発表（広島県、岡山県、鳥取県）され、6水系13河川23観測所で「氾濫危険水位」を超過、7水系9河川11観測所で「避難判断水位」を超過、7水系7河川14観測所で「氾濫注意水位」を超過した。このうち、5水系9河川13観測所で観測史上最高水位を記録した。

この雨により土砂災害、浸水害、河川の氾濫などが発生し、岡山県倉敷市真備町において、高梁川水系小田川の堤防が決壊し大規模な浸水被害が発生するなど、各地で甚大な被害が発生した。

■期間降水量（7月3日0時～8日15時）上位10地点

県名	市町村名	地点名	期間降水量 (mm)	7月の平均降水量 (mm)	期間降水量 / 7月平均降水量
山口県	下松市	下松（クダマツ）	539.5	299.8	1.8
山口県	岩国市	玖珂（クガ）	529.0	308.6	1.7
広島県	呉市	呉市蒲刈（クレシカマガリ）	517.5	258.6	2.0
鳥取県	八頭郡智頭町	智頭（チズ）	507.5	229.9	2.2
岡山県	苫田郡鏡野町	恩原（オンバラ）	497.0	277.3	1.8
山口県	岩国市	岩国（イワクニ）	496.5	269.5	1.8
広島県	三原市	本郷（ホンゴウ）	490.5	258.9	1.9
岡山県	苫田郡鏡野町	富（トミ）	489.5	※統計データなし	－
広島県	東広島市	志和（シワ）	488.0	264.2	1.8
鳥取県	鳥取市	佐治（サジ）	482.5	232.5	2.1

■48時間雨量の観測記録を更新した割合



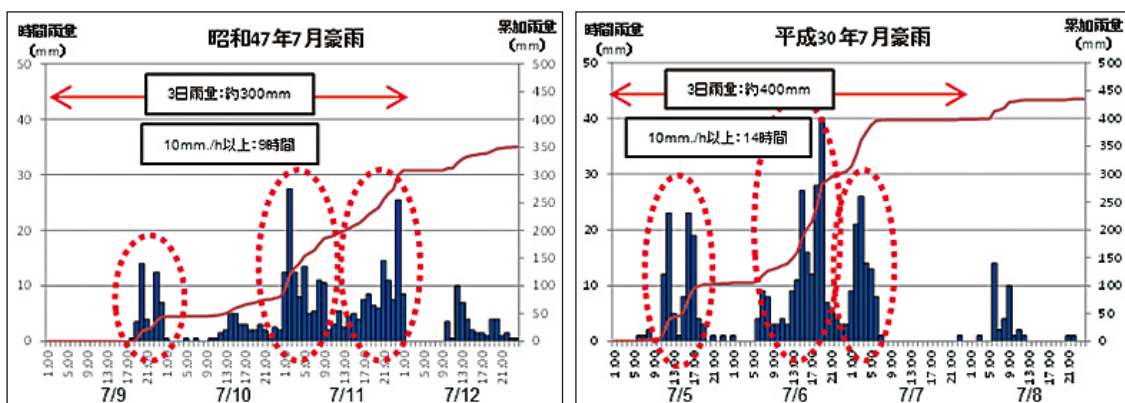
○昭和47年7月豪雨との比較

■【昭和47年7月豪雨】雨量分布図（総雨量）



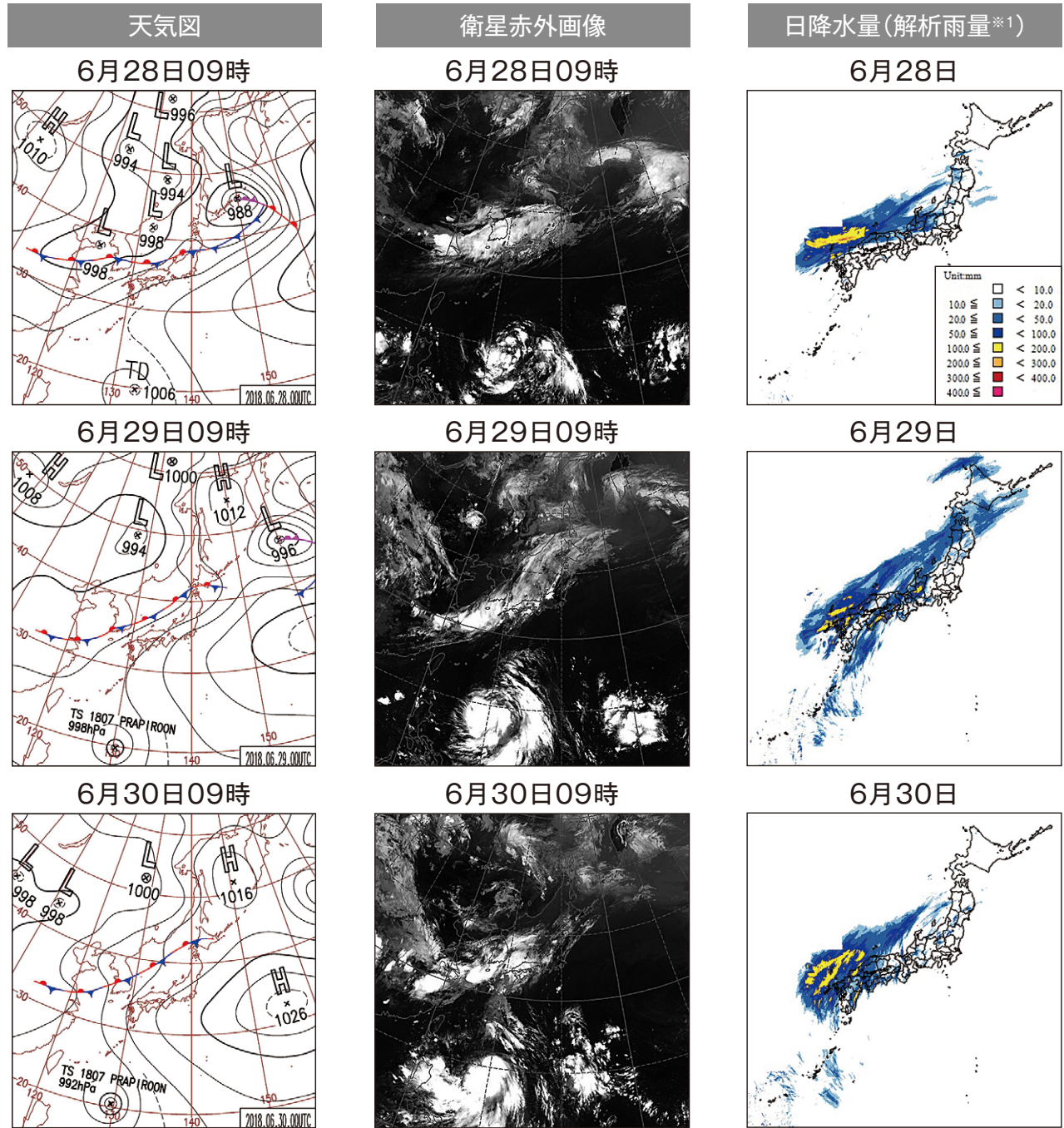
※広島地方気象台提供資料を一部加工

■江の川 吉田雨量観測所での時間雨量の比較



3. 平成30年7月豪雨（気象庁資料）

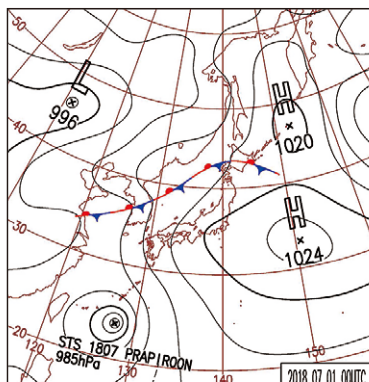
天気図・衛星画像・解析雨量



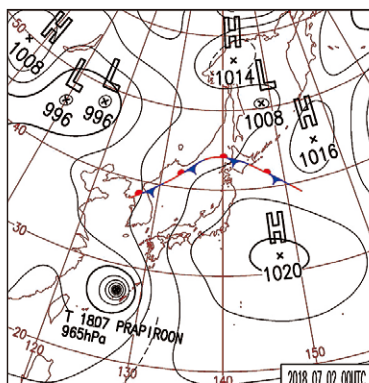
※1：解析雨量とは、気象レーダーと、アメダス等の雨量計を組み合わせ、雨量分布を1km四方の細かさで解析したもの

天気図

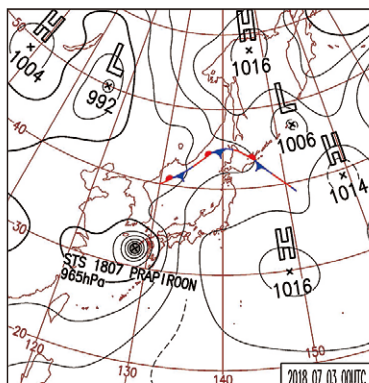
7月1日09時



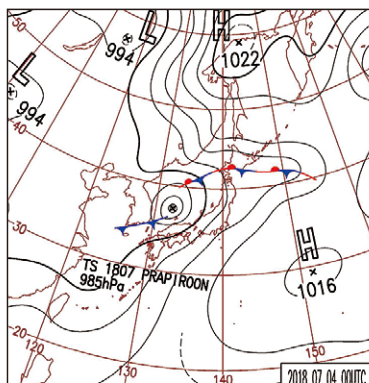
7月2日09時



7月3日09時

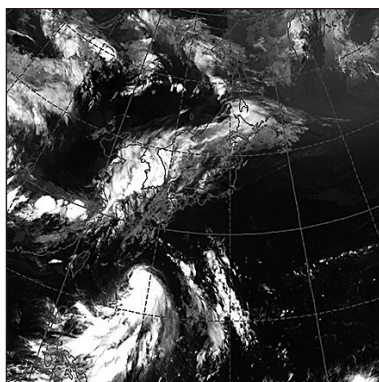


7月4日09時

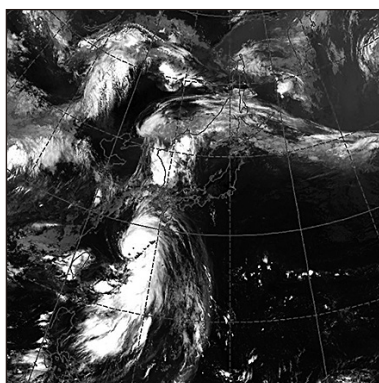


衛星赤外面像

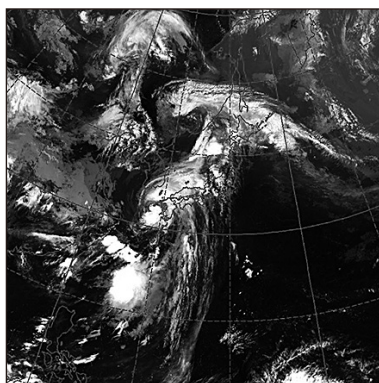
7月1日09時



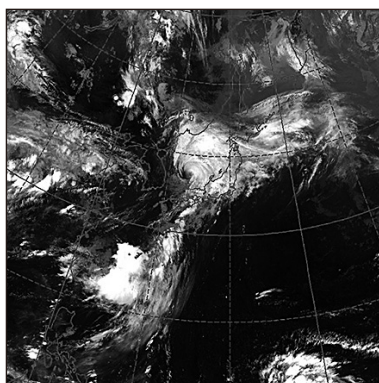
7月2日09時



7月3日09時

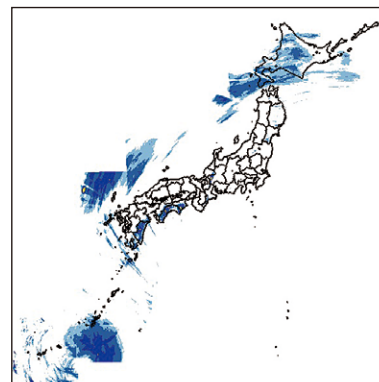


7月4日09時

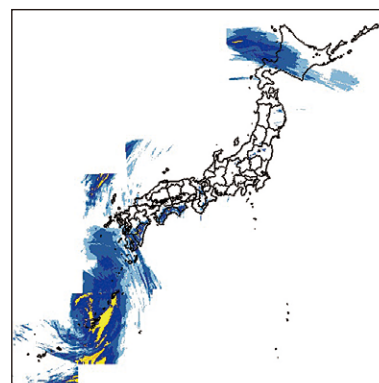


日降水量(解析雨量※1)

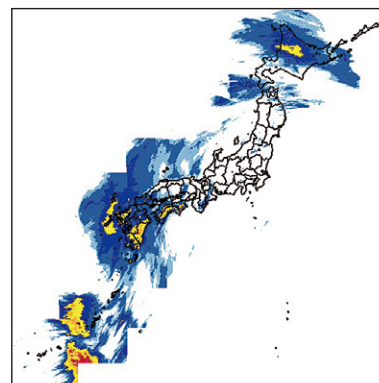
7月1日



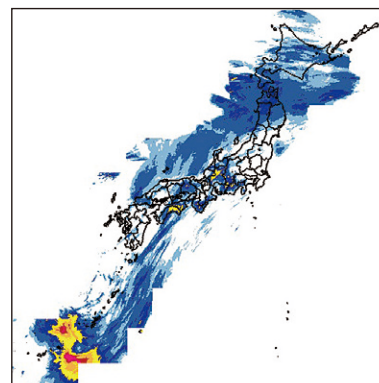
7月2日



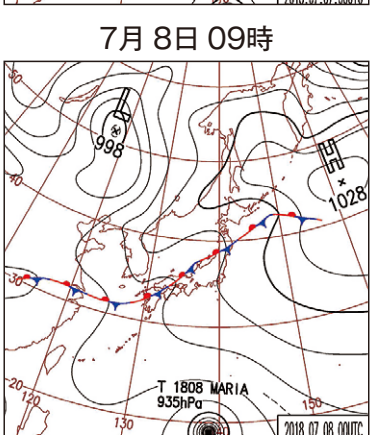
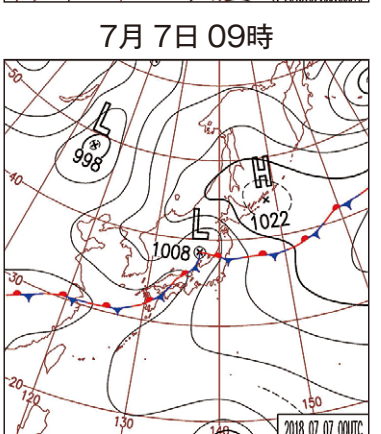
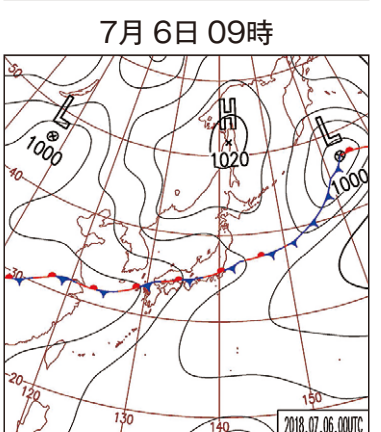
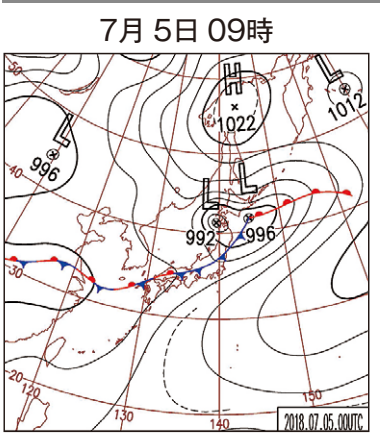
7月3日



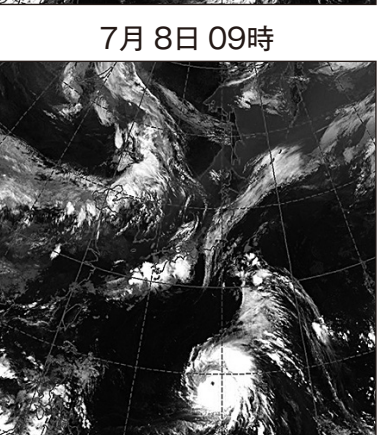
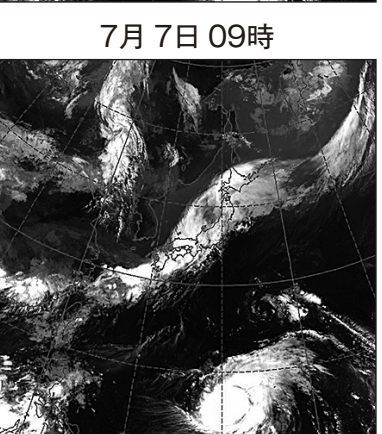
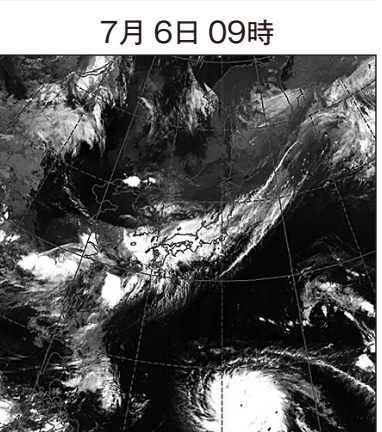
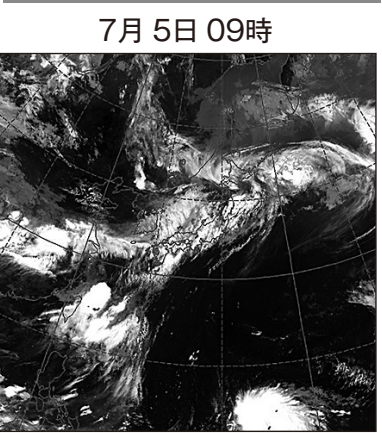
7月4日



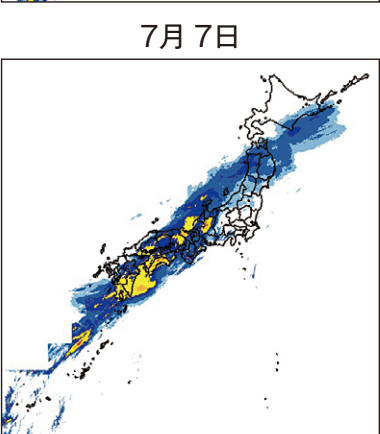
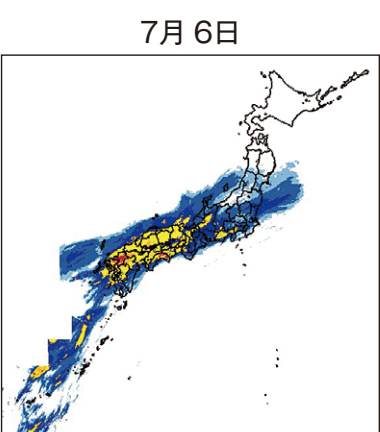
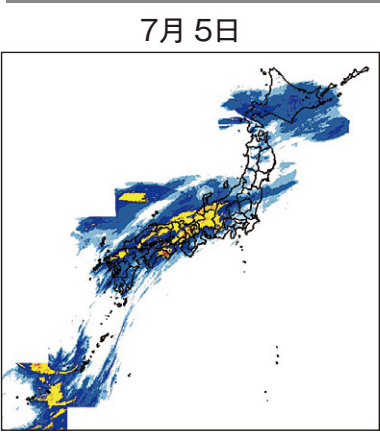
天気図



衛星赤外面像



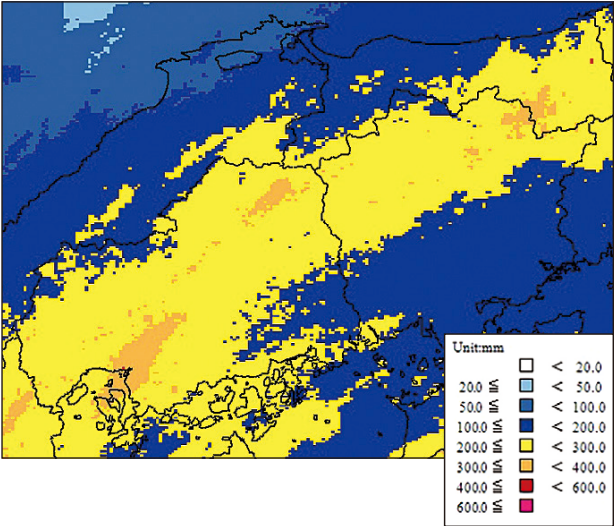
日降水量(解析雨量※1)



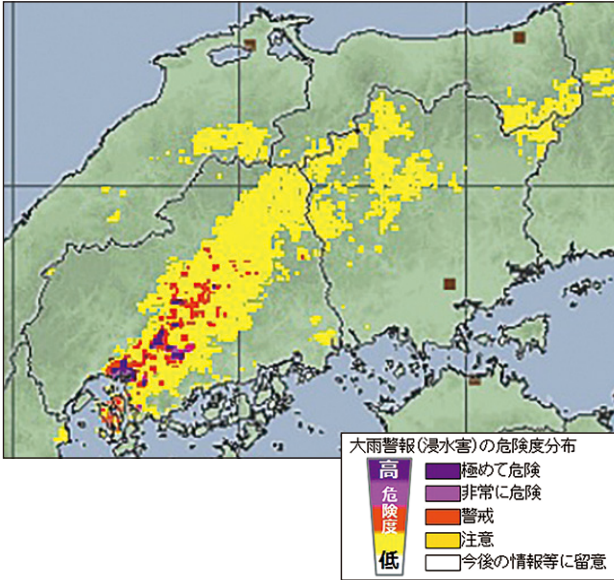
※1：解析雨量とは、気象レーダーと、アメダス等の雨量計を組み合わせ、雨量分布を1km四方の細かさで解析したもの

7月 6日 20時(広島県、岡山県、鳥取県に大雨特別警報を発表した直後)

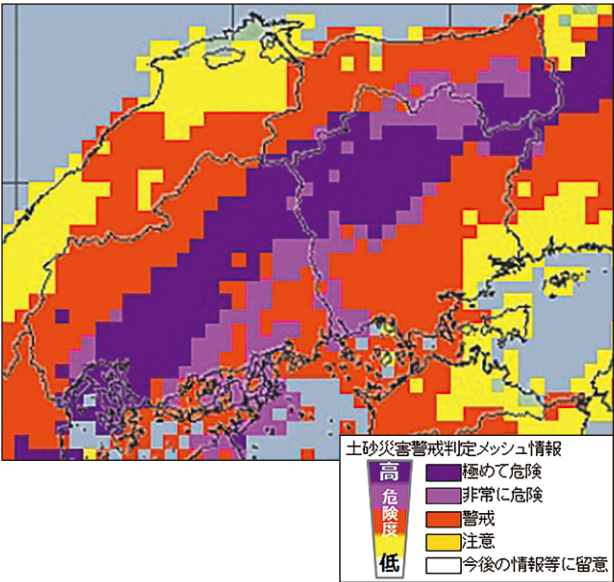
4 8 時間降水量(解析雨量)



大雨警報(浸水害)の危険度分布



土砂災害警戒判定メッシュ情報
(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)



洪水警報の危険度分布

